

麻生区区民会議 第13回専門部会『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成30年2月13日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員
（欠席）橋本周委員、吉垣君子委員
[事務局] 企画課 安藤課長、長瀬
[コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. これまでの審議内容の振り返り

- ・『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返るとともに、合意事項についての再確認を行った。

2. 調査・審議課題の検討について

1) 魅力の発信方法について（冊子の確認、検討）

【今後の方向性】

- ・委員の意見を基に、冊子のイメージ（案）内容を具体化していくこととした。

【主な意見】

- ・麻生区の成り立ち、歴史の部分は短い解説の文言を入れた方が良いと思う。
- ・掲載写真は麻生区の3つの魅力を感じられるものにした方が良いのではないかと。
- ・農業振興地域が残っているのは麻生区だけなので、その説明は入れてほしい。
- ・35年前の写真と現在の写真を2列に並べた方が、比較がしやすくなると思う。
- ・比較するというのではなく、麻生区の魅力の今昔がわかれば良いのではないかと。

2) 報告書・提言の検討

【今後の方向性】

- ・提言は二つにすることを合意した。
- ・【提言1】で魅力の発信主体の必要性や組織に関する総論などを深めていくとともに、【提言2】で、発行主体についても具体的な形で盛り込むことで、より具体化な提言とするための検討を継続することとした。

【主な意見】

- ・ 提言の前提となる部分も報告書に入るという理解で良いか。
- ・ 冊子の発行頻度や更新に関する議論も必要ではないか。
- ・ 【提言 2】と【提言 3】は順番が逆ではないか。
- ・ 【提言 3】は無くして、【提言 1】に組織の話を組み込むべきだと思う。
- ・ 冊子の発行母体を PR 委員会の端緒としても良いのではないか。
- ・ 冊子の発行母体にこの部会のメンバーが入れば、当初の想いを維持できるのではないか。
- ・ 継続性を担保できる仕組みについて検討する必要があると思う。
- ・ 【提言 1】に組み込む組織の一翼として冊子の発行母体を位置づけ、【提言 2】の（5）でその主体について言及してはどうか。
- ・ 当部会を中心に準備会を立ち上げ、編集委員会を立ち上げるという方向性で提言してはどうか。
- ・ 冊子等の情報を置く場所の確保も独立した提言になり得るのではないか。

3) 全体会資料の検討

- ・ 全体会の資料の確認を行い、概ね合意を得た。
- ・ 細かい部分の修正については、部会長、副部会長、事務局に一任することの承認を得た。

3. その他

- ・ 次回は 3 月 13 日（火）に開催することを伝達した。

以 上